

# 袋井市内中学校 第1回制服選考委員会(記録)

日時 令和4年12月19日(月)19:00~20:30

会場 袋井市教育会館(4階大会議室)

## 参加者

袋井市内各中学校 学校運営協議会会長、現PTA 副会長(次年度会長)、校長、教頭、養護教諭、家庭科教諭  
袋井市内各小学校 PTA役員保護者代表  
アドバイザー(静大教職センター特任教授)、袋井市教育委員会担当

## 1 開会の言葉

司会

## 2 委員長・副委員長の選出

以後の進行は委員長

委員長(袋井中学校学校運営協議会代表 村田朝子様)

副委員長(周南中学校学校運営協議会代表 奥之山隆様)

## 3 中学校校長代表挨拶

袋井中学校校長

- ・本会は、広義では袋井市のこれからの子供たちのよりよい学校生活を送ることができるようにするためにはどうすればいいかを考える会である。そして、その子供たちのよりよい学校生活を送る上で今回は制服を視点に検討をしていく会と捉えている。
- ・制服を考えると、まずは、子供自身がどのように考えているか、保護者がどのように考えているか、教員がどう考えているかをアンケートや実際の声をもとに検討するとともに、さらに、地域の方がどう考えているかも含めて検討をしていかなければならない。そのため、本日PTA代表や地域の代表として学校評議員の皆様、また、教員代表の方に参集していただいた。
- ・まず、制服を検討することになった「経緯」や「制服検討のねらい」、4中学校で検討してきた「基本のおさえ」について説明をしていく。
- ・先月から全生徒並びに中学校の保護者、小学校3年から6年生の保護者のアンケートを実施した。その結果を踏まえ、代表生徒が自分たちで検討してきた「制服に関する考えや思い」や「今後の制服に対する願い」を動画で紹介する。
- ・以上のことを聞いていただき、これから袋井市内4中学校が考えている制服についての考えや今後のおさえについて、本会で協議していく。
- ・本日の第1回は、個人個人としての考えを基本にしつつも、これからの子供たちのためにという視点で議論や検討をし、今後の方向性についてお認めいただけるかどうかをみなさんと決定していく。

この後【制服検討についての市内4中学校によるおさえ】を基に、今後の方向性を説明

※説明の中で、全国的な動き、県内(裾野市、掛川市、湖西市、藤枝市)の動きについて紹介することで、これから制服を検討する必要感が高まっていることを伝えた。また、金額的な目安についても、県内ですでに導入している市町の金額も紹介した。詰襟からブレザーにするのは金額的にあまり変わらないこと、セーラー服をブレザーにするのは同等か安くなる可能性があることも説明した。

#### 4 児童・生徒・保護者アンケート結果の報告

- ・全体としては、新しい制服に変えてほしいという意見がやや多い。
- ・セーラー服は新しい制服に変えてほしいという意見が多く、寒暖、自転車への乗りにくさを指摘する声が多い。
- ・詰襟は、現在のままでよいという意見も多いが、窮屈という意見が多い。
- ・中学生は、着心地、温度調節、洗濯しやすさ、価格、きちんとしたものを希望している。
- ・中学校保護者は、家庭で洗濯可能、生地、耐久性、安価、速乾性を希望している。
- ・小学校保護者は、家庭で洗濯可能、安価、耐久性、生地、速乾性を希望している。

#### 5 各中学校生徒からの提案(動画) ～生徒主体の検討会を経て～

#### 6 アドバイザーの講話

静岡大学教職大学院 加藤 靖 特任教授

- ・各校のHPで、多くの学校の目標が自立と共生がテーマとなっている。
- ・自ら判断し行動するような力が足りない子供が多数存在する。雨でも栽培の水やりをする、傘を持っていくことをすすめられ、雨が降らないと親に文句を言うなど。
- ・今の制服は、子供たちの自ら判断し選択したり、対応したりする力を養うものになっていない。
- ・セーラー服、詰襟は寒かったり暑かったりしても、寒暖差に応じて選択できない制服である。
- ・学校は我慢するところだと刷り込んでいないか。これからの学校は、生徒の主体性を育む必要がある。
- ・制服を検討することが、子供たちの主体性を伸ばすことの一つにつながる。
- ・私が校長をやっていた青島中学校では、教育目標の日常化を目指した制服見直し、特に寒暖などの状況に応じて自分で判断することを目指し、同時に多様性を認める寛容性を育むためにブレザーに変更した。
- ・女子のスラックス＝トランスジェンダーという決めつけをしてはいけない。
- ・LGBTQ+対応はあくまでも背景であって、むしろ個人の判断で服装を選択できるようにすることが重要。
- ・できるだけ主体である子供の意見を取り入れたい。子供の人権条約、世界人権宣言の趣旨を生かしたい。
- ・袋井市は、生徒が主体的に制服を検討する姿があって素晴らしい。
- ・自主性を養うという意味では私服という考えもあるが、入学式、卒業式の対応に難しさがあり、結果的に高価になってしまうことがある。
- ・詰襟、セーラー服に憧れがある児童もいるが、子供たちがいいと思える制服にすることが重要。

#### 7 制服検討のロードマップについて

- ・ロードマップは、生徒や保護者のアンケートの結果を踏まえ、袋井市の子供たちにふさわしい制服について、選考委員会等の意見をもとに、メーカーにサンプルと企画書を依頼する過程を示している。
- ・4中学校で、新しい制服の導入を令和6年度の入学生からと設定した。ただし、導入に時間をかけて解決する課題があれば、導入時期についても先送りを検討することも想定している。
- ・仕様書はマスターメーカーに依頼するが、それに沿っていればどのメーカーでも制服を作ることができるという方式をとり、価格の競争を促す。
- ・新しい制服を導入したとしても、数年間は移行期間とし、旧来の詰襟・セーラー服も認めていく方針である。

## 8 袋井市立中学校が新しい制服に求めるものについて

※アンケート結果を基に設定した、重視する項目を、案として選考委員に提案した。

- (1) 安価(買い替え可能な価格・現行と同等かそれ以下)であるもの
- (2) ブレザー方式で、男女性差ができるだけないもの
- (3) 家庭で洗濯可能で、速乾性があり、耐久性のあるもの
- (4) 抗菌・防臭効果があり、夏涼しく冬温かく、柔軟性や伸縮性のあるもの
- (5) 女子用スラックスの設定あり
- (6) 夏用スラックス、夏用スカートの設定あり

※ベスト、カーディガン、ネクタイ、リボンは、各校でデザインを決める方針も説明した。

## 9 学園ごとのグループ協議で、委員から出された主な意見

### ○制服変更への意見

- ・生徒たちの動画を見てしっかり考えていること、各中学校で個性があって素晴らしい。大人もクールビズやウォームビズがあるが、子供たちは我慢させられてきた面がある。生徒自身が自分たちで考えられる機会があるのは素晴らしい。
- ・保護者と子供たちが重視している点の違いはあるが、子供たちの意見を重視したい。特に着心地や保温性、断熱性を重視しながら、価格も含めて考えていきたい。
- ・生徒が自分たちで考えられることはいい機会だと考える。制服だけでなく、ネクタイ、リボン、ブラウスなど全て選べるからこそ、ある程度絞った方がよい面もある。自主性の面に難しさがあると感じた。
- ・制服の切替はどのタイミングでも難しさがあるのは同じ。兄弟姉妹でも違いがある。着やすさや着にくさは判断が難しい。
- ・生徒の多様性を考えると、早急に制服変更を進めるべき。
- ・半数近くの人が制服検討について課題があると感じている。さらなる議論を進めるべき。
- ・アンケート結果で賛成が半数というのが気になる。反対の人にどう賛同を得るかが鍵である。4中学を揃えてということが単価を抑えることにつながるのではないかと思う。
- ・制服のありようも時代とともに変わる。実際に着用するのは子どもなので、子どもの意見を尊重して決めていきたい。
- ・そもそも制服が不要な感じもする。値段がどうなるのか気になる。
- ・話を聞いて、私服でもいいのではないかと思ったが、貧富の差などが見えてしまうと考えると制服は必要だろう。ある程度、4中学校で、ベースを決めていくのは賛成。
- ・私服だと、子どもの必要な物を購入することになる。親としては、制服があった方が楽である。
- ・(新制服が)始まってしまえば自然な流れで受け入れていく雰囲気や流れがあるのではないか。細かなことにこだわりすぎなくてよい。
- ・子どもはあまり考えてアンケートに答えていないのではないか。考えた後にアンケートを取れば数値が変わるのではないか。
- ・登下校のみの制服ということに意味があるのか。中学での思い出は、体操服の時間が長かった。

### ○制服変更にともなう機能性、耐久性等についての意見

- ・スカートはしわになりやすいため、プリーツ(ひだ)は少なめに。

- ・ノーアイロンの仕様
- ・強風や寒さへの対応がされた仕様。スカートをはきたくない女子生徒は結構な数いるのではないか。
- ・夏場の過ごしやすさも十分検討すべき。
- ・夏服(ブラウス)の透け感は、防犯上からも解消したい。
- ・ネクタイやリボンは取り付けタイプがよい。
- ・ネクタイは、自分で縛るタイプもあってもよいのでは(ファッション性、緩められる等)
- ・自転車通学者は裾や股上が擦れるので、耐久性がほしい。
- ・ブレザータイプとなると、靴(白靴、ローファーなど)への対応も必要。
- ・男女別ではなく、たとえばブレザーは、ウエストが絞ってあるものかないもので選択できるとよい。
- ・中学3年間で体も大ききも成長する。途中で買い換え、さらに高校に入って購入となると厳しい。
- ・新ブレザーでも、お直しができるようにスカートやスラックスの丈の長さ、スラックスの太もも幅の個別対応ができるとよい。

#### ○制服変更に関わるその他の対応への意見

- ・R5 年度入学生は、制服リサイクルなどの対応があってもよいのでは。
- ・多様な制服から選択するのはよいが、入学前にそれらを選択するのは困難。一定の目安がほしい。
- ・校則の見直しも同時進行で進めてほしい。(セーラー服では、セーターの脱ぎ着はできない。セーラー服の上から着るカーデガンを認めていく、など)
- ・スムーズにスラックスに移行できるのか、心配である。モニターみたいな感じで生徒が先行して着てみてアンケートを取ることをしてはどうか。
- ・子どもたちはどのように変わっていくのか、イメージできていないのではないか。実際に着て、イメージしてもらうのがよいと思う。

#### 10 連絡事項

- ・次回予告 令和5年2月21日(火)18:00~19:30

#### 11 閉会の言葉

司会